

戦後 80 年 世界恒久平和を目指して

地域コミュニティ課 ☎ 65-1218

今年は、戦後 80 年の節目の年。私たちの暮らしの中にある平和がどれほど貴重なものか、改めて平和について考えてみませんか。

市では、昭和 32 年に「平和都市宣言」を、昭和 59 年に「核兵器廃絶都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を願い続けてきました。戦争の記憶を語り継ぎ、未来の世代へ平和の思いをつなぐ取り組みを行っています。



原爆パネル展

広島・長崎に原爆が投下された当時の写真や惨状を描いた絵画などのパネル展を行います。

【開催日程・場所】

8月 4日(月)～8月 8日(金)	別子山公民館
8月 12日(火)～8月 15日(金)	市役所 1 階ロビー
8月 18日(月)～8月 22日(金)	神郷公民館
8月 25日(月)～8月 29日(金)	惣開公民館



市役所北側の中央公園にあるモニュメントは、「核兵器廃絶都市宣言記念碑」で、昭和 60 年に設置されました。



新居浜にも空襲があったことを忘れないで

巨大爆弾パンプキン 2 発投下、大きな被害…

総務省 HP ▶



太平洋戦争末期の 1945 年 7 月 24 日、新居浜の空を米軍の爆撃機 B 29 が襲いました。

「パンプキン爆弾」と呼ばれる大型爆弾が 2 発投下され、菊本町の住友軽金属製造所第 3 製錬工場（右図①）と惣開町の住友化学工業新居浜製造所^{ひょうしょうせき}水晶石工場（右図②）が大きな被害を受けました。死傷者 45 人。うち 8 人の尊い命が失われました。

この時、使用されたパンプキン爆弾は、のちに長崎に投下された原子爆弾と同じ形状・重量で作られた「模擬原爆」であり、投下の精度や効果を確認するための訓練用兵器でした。戦況によっては、模擬爆弾の投下地である新居浜にも原爆が投下されていたかもしれません。

＜参考＞総務省 HP「新居浜市における戦災の状況」



参考地図（総務省 HP より）